

大学

企画課管理用 管 — B — 2

推進主体	学長室経営企画課
責任者	学長室部長

分類	実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
管 — B	②長期的観点でのキャンパス計画の検討	令和 4 年度	令和 7 年度	あり(予定)

① 目的・内容

令和21年度に本学があるべき姿＝ビジョンを実現するため、長期的観点でのキャンパス計画を検討する。具体的には現行の、平成16年度に開始されたキャンパスプランの後継プラン策定を目標とする。なお、本計画に係る予算の取り扱いについては法人の方針に準拠する。

<備考>

■「令和4年度「中期計画推進予算」計画申請書の提出について」(令和3年5月31日付文書)抜粋
「中期計画推進予算」の使途のうち、施設営繕費に係る予算は「物件費に付随する施設営繕費に限る」

■「『学習院VISION150』における大学の計画について」(令和3年7月1日付文書)抜粋
中期計画に関連する各予算の基本方針について(1. 施設営繕費・人件費に関連する計画について)
現時点で実施が決定している計画を除き、新たに各学校の中期計画として掲げることは認めない。
ただし、令和3年度中に、中期計画期間における各学校の要望をヒアリングした上で、法人部門の計画の趣旨に合致する計画については、必要経費や実施時期等を総合的に判断して、可能な範囲で施設営繕予算での実施を検討する。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

現行の、平成16年度に開始されたキャンパスプランの後継プラン策定を目標とする。
検討開始段階では計画内容を限定せず、既存建物の営繕的視点からの計画や新たな建設計画等、広く、また、長期的観点から検討を行う。令和4(2022)年度及び令和5(2023)年度にて、学内方針の確認と検討体制の整備に着手し、以降、具体的なキャンパスプランの検討に取り組む。

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定		方針検討 検討体制整備	●学内承認				
			新キャンパスプラン詳細検討、学内提案			●学内承認	

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和4年度 (2022年度)	現大学キャンパスプラン建設委員会を中心に、現在のキャンパス各建物の改修時期等含めた状況を確認の上、各部門及び部署への意見聴取等も実施し、後継プランに係る方針を検討、令和4(2022)年度中に基本計画策定委員会へ提案。	令和4年6月6日開催の基本計画策定委員会において方針及び今後の進行方法を提案・各部門への意見聴取を実施。特段の異論無く原案のとおり了承されたことを受け、7月11日開催の専門職大学院研究科長会議及び学部長会議において「大学キャンパスプラン建設委員会規程」の一部改正を提案し、これが承認される。なお、令和5年度の中期計画推進予算で外部の建設コンサルタント等有識者の委託費用を申請し、これが採択される。 ※令和4年度の進捗状況に合わせ、③ロードマップを修正(令和5年度よりプランの詳細検討着手に計画前倒し)。 ★進捗段階:「意思決定」
令和5年度 (2023年度)	新大学キャンパスプラン建設委員会における検討を開始。第1学期中に外部の建設コンサルタント等有識者を選定し、選定業者にアドバイザーとして本委員会への参加を求める。本委員会において検討方法等詳細を確認した後、各部門へのヒアリング、各種調査等に着手する。なお、進捗状況に応じて外部の建設コンサルタント等有識者の翌年度継続起用も検討する。	第1学期中に、大学キャンパスプラン建設委員会において、新キャンパスプランの検討方法が確認される。確認された検討方法に基づき、各部門への意見聴取及び学生へのアンケートを実施し、具体的な検討を進めた。なお、外部有識者の起用については、検討方法等を確定し、コンサルティングを依頼する内容等を整理した後に進めた方が、コンサルタントの選定等も進め易くなるとの意見から、第2学期中に状況を整理し、選定・起用を予定する。 ★進捗段階:「実施展開」
令和6年度 (2024年度)	大学キャンパスプラン建設委員会において検討を進める。令和5年度に実施した各部門への意見聴取及び学生へのアンケートの結果や、施設部からの提供情報、外部有識者からの提案等を踏まえ、新たなキャンパスプランを形作る。	令和6年度は年間で10回の委員会の開催を決定し、次期キャンパスプランの検討を進めている。令和6年10月末の段階で検討はほぼ計画どおりに進行しており、令和6年度末に案をまとめ、基本計画策定委員会への答申案提出を予定している。 ＜次期キャンパスプランの構成案＞ 1. キャンパスプランの位置付け 2. 課題 3. 目指すべきキャンパスの将来ビジョン 4. 重点テーマ 5. ゾーニングプラン 6. ロードマップ ★進捗段階:「実施展開」
令和7年度 (2025年度)	大学キャンパスプラン建設委員会において策定した次期キャンパスプランを基本計画策定委員会へ答申案として提出し、各種調整の上、大学内での成案を目指す。	大学キャンパスプラン建設委員会において策定した次期キャンパスプランを基本計画策定委員会へ答申案として提出し、各種調整の上、大学内での承認を受け、法人宛に提出した。 なお、本計画に係る予算の取り扱いについては法人の方針に準拠することとしていることから、本計画自体は完了したと判断している。 ★進捗段階:「計画達成」

⑥ 計画の成果・今後の方針 ※計画を中止する場合はその理由を記載のこと。	
<p>本計画では、現行キャンパスプランの後継となる次期キャンパスプランの策定に向け、建物の改修時期等を含む施設状況の確認と、各部門・部署への意見聴取を行い、基本計画策定委員会への提案体制を整えた。</p> <p>令和4年度には、建設委員会で検討方針と進行方法が了承され、規程改正も学部長会議等で承認されたほか、外部建設コンサルタントの委託費用も中期計画推進予算として採択された。翌年度には新委員会で検討を本格化させ、意見聴取や学生アンケートを実施し、外部有識者の起用方針を整理したうえで選定準備を進めた。令和6年度には年間10回の委員会開催を決定し、施設情報や外部有識者の提案を踏まえ、次期キャンパスプランの構成案(ビジョン、重点テーマ、ゾーニング、ロードマップ等)を取りまとめた。</p> <p>検討は計画どおり進展し、年度末に案を集約して基本計画策定委員会へ答申し、必要な調整を経て大学内の承認を得た。最終的には法人への提出を完了し、計画は所期の目的を達成したと判断される。</p>	
<p>※計画完了時点で記載してください。 ○…必須事項 △…必要に応じて記載</p> <p>○②到達目標に対する結果</p> <p>○計画の中止理由(※中止する場合)</p> <p>△今後の見通し・課題(通常事業化など)</p> <p>△その他</p>	